

事業再評価調書

事業名	天王寺大和川線
担当	建設局 道路部 街路課 (連絡先：06-6615-6755)
1 再評価理由	国庫補助事業を除く事業で事業開始年度から起算して5年目の年度において継続中のもの
2 事業概要	①所在地 阿倍野区天王寺町南1丁目～住吉区山之内元町
	②事業目的 本路線は、阿倍野区、東住吉区、住吉区と3行政区にまたがり、JR阪和線沿いに位置する延長約5.5km、標準幅員29mの都市計画道路である。 本路線は、整備の基本方針を『風かおる“みち”』とし、幅広い植樹帯などによる防災機能の向上、JR阪和線各駅へのアクセス機能の強化及び交通の安全性向上、更に沿道の公園と連携した緑豊かで潤いのある空間の創出と景観軸の形成など、様々な機能をあわせもつ道路として整備を行うこととしている。
	③事業内容 ・道路整備（新設） 延長 L=5520m 国道25号 ～木津川平野線：30m程度 標準幅員 W= 29m 木津川平野線～敷津長吉線：15m程度 敷津長吉線～大和川北岸線：10～20m程度（片側）
3 事業の必要性の視点	①事業を取り巻く社会経済情勢等の変化 ・本路線は、密集市街地が広く分布しているJR阪和線沿線地域の防災性の向上、JR阪和線各駅へのアクセス機能の強化、都市環境改善等、様々な機能を併せもつ道路としての整備を目指し、整備前の段階から地域協働の取り組みを進めている。 ・本市都市計画道路事業の中でも、整備前の段階から地域協働に取り組む等、先進的な手法を用いて事業を進めている路線は、この天王寺大和川線のみとなっている。 ・平成20年度より地域協働の会議を開催しているが、現在、天王寺大和川線みち・みどり会議においては、整備前にとどまらず、整備後の地域協働活動の実現及び、協働機運持続及び向上を図ることを目的として、会議メンバーが中心となり、自発的に様々な活動を行っている。このため、沿線地域における本事業に対する関心は非常に高く、早期の事業推進が求められている。 ・建設局運営方針において、街路事業は事業中路線の選択と集中を行うこととし、重点整備路線及び完了期間宣言防災路線と位置付けた路線について、重点的に整備を進めることとしている。 ・当該路線は、区間北側の約半分が、大阪市防災まちづくり計画において、防災性向上重点地区に位置付けられた地域に位置している。更にその内の阿倍野区天王寺町南1丁目（起点）から文の里4丁目（木津川平野線）までの延長1400mの区間は、特に優先的な取り組みが必要な重点密集市街地と位置付けられた地域内にあり、用地取得率が高く、防災機能概成も見込めることから、建設局として、完了期間宣言防災路線に位置付け、アメニティ機能の向上及び都市環境改善に先駆けて、防災機能を平成23年度までに発現することとしている。
	②定量的効果の具体的な内容 [効果項目] ①実際に施設を利用する、また将来の利用を担保する価値 ②都市景観の向上、都市環境を維持・改善する価値 ③震災等災害時に有効に機能する価値 [受益者] ・沿線住民 ・地域経済 ・地域社会
	③費用便益分析 [算出方法] 「改訂第1版 小規模公園費用対効果分析手法マニュアル」に示された手法に準じて実施（国土交通省都市・地域整備局公園緑地課） *本路線は、緑豊かで安全快適、多機能な空間整備を目指しており、特にアメニティ機能向上を重視している。このため、本路線の効果項目としては、上欄に記載の各項目での費用便益算出が適当であると判断している。 [分析結果] ・費用便益比 B/C=1.33 （総便益B：1232.8億円、総費用C：930.0億円）
	④定性的効果の具体的な内容 [効果項目] ・地域コミュニティの育成、地域や街全体に対する愛着の醸成に貢献 ・安全で快適な道路空間の確保 ・JR阪和線各駅へのアクセス機能の向上 ・都市の防災性の向上 ・ヒートアイランド現象の緩和等、都市環境の改善 ・沿線土地利用の高度化 [受益者] ・沿線住民 ・地域社会 ・地域経済
	⑤事業の必要性 本路線は、アメニティ豊かで緑豊富な道路整備を目指しており、費用便益分析については、小規模公園における分析手法での評価項目の適用が適当であると考え、これに準じて算出している。その結果、費用便益比は1を超えており、投資効果が見込めるものと判断している。更に、地域協働の取り組みの実施による地域コミュニティの育成や地域への愛着の醸成、その他、道路機能の確保による地域内のアクセス機能の向上等、定量的な便益に換算していない効果も有り、事業の必要性は更に高まっている。 また、事業採択時にはJR阪和線の高架化事業が進行中であったが、現在は、既に完了しており、広大な用地が確保されている状況から、沿線地域においては、早期の事業推進が期待されている。 なお、本路線のうち、起点から木津川平野線までの区間は、完了期間宣言防災路線に位置付けている。

		事業開始時点 (平成17年3月)	再評価時点 (平成23年3月)
4 事業の実現見通しの視点	①経過及び完了予定	事業採択年度 平成16年度 着工年度 平成16年度 完了予定年度 平成29年度	事業採択年度 平成16年度 着工年度 平成16年度 完了予定年度 平成29年度
	②事業規模	用地取得：101,600m ² 道路整備：160,080m ²	用地取得：102,000m ² 道路整備：160,080m ²
	うち完了分	—	用地取得：70,600m ² 道路整備：0m ²
	進捗率	—	用地取得率 69% 工事進捗率 0% (先行取得を含む面積ベース)
	③総事業費	942億円	942億円
	うち既投資額	—	569億円
	進捗率	—	60%
	④事業内容の変更状況とその要因	—	—
	⑤未着工あるいは事業が長期化している理由	本路線は、様々な機能をあわせもつ道路としての整備を目指し、整備前の段階から地域協働の取り組み等、先進的な手法を用いて事業を進めており、地理的条件においても、本路線は、3行政区に跨り、延長が約5.5kmと非常に長いこと、用地取得、関係機関との調整及び工事実施等事業実施全般の事項において、相応の期間を要することを見込んでいることから、当初より事業が長期にわたるものとなっている。	
	⑥コスト縮減や代替案立案の可能性 (事業を進捗させるための対応策)	特になし	
⑦今後の事業進捗の見通し	本路線は、整備前の段階から地域協働に取り組む等、従来の都市計画道路とは異なる先進的な手法を用いて事業を進めている。この地域協働の取り組みでは、道路整備後の維持管理においても地域協働で実施することを目指しており、地域協働機運の持続を図るためには、継続した事業実施が必要である。また、本路線のうち、起点から木津川平野線までの区間については、完了期間宣言防災路線として位置付けている。 以上のことから、今後も重点的に予算を配分し、平成29年度の事業完了を目指す。		
5 事業の優先度の視点	<p>[重点化の考え方]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪市では「なにわネットワーク2011—新しい大阪市をつくる市政改革基本方針—」を策定し、その中で、多様な協働(マルチパートナーシップ)によって、大阪市の市政を、地域の個性や時代の要請に合う、またコミュニティを再生することで、大阪市の本来持っているなにわの力を復興する事を目指している。 ・建設局運営方針において、街路事業は事業中路線の選択と集中を行うこととし、重点整備路線及び完了期間宣言防災路線と位置付けた路線について、重点的に整備を進めることとしている。 ・本路線のうち起点から木津川平野線までの区間を完了期間宣言防災路線として位置付けている。 <p>[事業が遅れることによる影響]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、整備前の段階から地域と協働しながら事業を進めており、特に地域の代表者等から構成している天王寺大和川線みち・みどり会議においては、整備前にとどまらず、整備後の地域協働活動の実現に向けて、協働機運持続及び向上を図ることを目的として、会議の構成メンバーが中心となり、自発的に様々な活動が行われている。このため、事業が遅延した場合には、地域協働の機運を中断することとなり、地域コミュニティの育成、地域や街全体に対する愛着の醸成に遅滞が生じるとともに、これまでつちかかってきた信頼関係を失う要因となり、以後の事業実施に支障を及ぼすこととなる。 ・ヒートアイランド現象の軽減等、都市環境の改善における事業効果の発現が遅れる。 ・歩行空間の確保による歩行者の安全安心、JR阪和線各駅へのアクセス機能の向上等について事業効果の享受が遅れる。 ・沿線土地利用の高度化が遅滞することにより、地域経済の活性化等についての事業効果の発現が遅れる。 		
6 特記事項	地域協働の取り組みとして、現在、「天王寺大和川線整備計画検討会議(有識者により構成)」及び「天王寺大和川線みち・みどり会議(地域の各団体等の代表者により構成)」を開催し、事業を進めている。		
7 対応方針(原案)	<p>「事業継続(評価A)」</p> <p>本路線は、整備前の段階から地域協働に取り組む等、従来の都市計画道路とは異なる先進的な手法を用いて事業を進めており、沿線地域における本事業への関わりは非常に活発な状況があり、事業への関心も高い。また、本路線のうち、起点から木津川平野線までの区間については、完了期間宣言防災路線として位置付けている。 以上のことから、事業の必要性は非常に高く、重点的に事業を実施し、平成29年度の事業完了を目指す。 以上により「事業継続(A)」とする。</p>		